



# 神奈川県作業療法士会4ヶ年計画

『共に創る未来』

2023-2026年度

前期（2023-2024）振り返り

一般社団法人神奈川県作業療法士会

会長 神保武則



# 一般社団法人神奈川県作業療法士会 前期計画（2023-2024年度）振り返り

---

- 会長挨拶
- 『成長する県士会』 4ヶ年計画 ～成長戦略～
- 2023-2024年度 前期2年間の達成状況と振り返り
- 組織改編について
- まとめ

# 会長挨拶

---

日頃より、一般社団法人神奈川県作業療法士会の活動に関し、御理解と御協力を頂き心より感謝申し上げます。

『アフターコロナ』という名が付く時代になった今、COVID-19は我々の生活に多くの打撃をもたらしました。ただ、多くの知恵も授かり、今となっては、様々に生活の工夫がされるようになってきました。スーパーで買い物をするのもキャッシュレス、自宅から一歩も出ずに食べたいものを注文して玄関で受け取る配送サービス、レストランではタブレットで注文、医療現場ではスマホで患者情報の確認や入力が可能となり、人と話さずにも得たいものや情報が得られるようになってきました。そんな時代でも大切にしたいことは、昔ながらの“ふれあい”であり、そこから生まれる“いきがい”ではないでしょうか。人は一人では生きていけない弱い生きものです。だから、たくさんの“ふれあい”から、たくさんの“いきがい”が創出できるようにこれからも、会員の皆様とともに歩んでいきたいと思えます。

ここに、4か年計画の前期（2023-2024年度）を振り返りたいと思えます。

今後も引き続き、皆様と共に力を合わせ、頑張っ参ります。  
何卒、宜しくお願い申し上げます。





# 『成長する県士会』 4カ年計画

2023年～2026年度

# 成長戦略

---

会員も県士会も『成長』するためのキーワード

生産性：Creativity

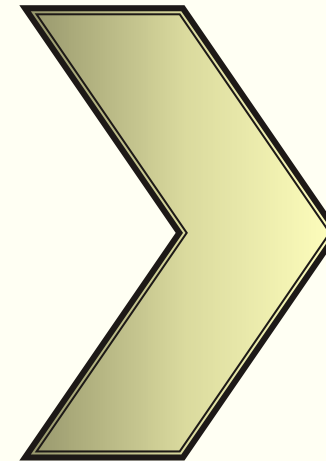
どんなことができそう？

独創性：Originality

どんなことにチャレンジしてみたい？

協働性：Cooperativity

どんなことを一緒にやりたい？



10年後

20年後

・

・

100年後

ひとりじゃない。  
皆でちからを合わせよう。  
100年先の作業療法の未来を創るために！

# 4カ年 中長期計画 2023-2026年度

スローガン：成長する県士会と共に『会員一人ひとりが質の高い作業療法を実践し成長しよう』

行動計画：会員がより質の高い作業療法を実践できるよう支援する。

『OT学術技能研鑽、資質向上に努める / OT協会と連携し作業療法の普及発展を図る / 神奈川県民の保健・医療・福祉の向上に寄与する / 組織運営の円滑・効率化のために組織改編を実行する / 県内に向け作業療法の実践と啓発・OTの育成教育 / 組織力向上を図る』

行動計画 2023～2026年度	目標
学術・教育活動の推進と支援	指定規則改定に伴う臨床実習指導者養成に向けた講習会開催や卒後教育の生涯教育推進と支援。スキルアップ研修会、研究活動推進、OTとしての専門性向上と倫理教育の充実。地域リハビリテーション教育による地域活動協力体制構築。県学会や臨床大会による成果発表の機会作り。
公益活動への取り組み拡大・支援	県内二次医療圏における作業療法活動支援体制の基礎を構築。会員データベース（人材バンク等）の構築。行政機関や他団体との連携協業。医療・保健・福祉の向上に繋がる企画開催。養成教育機関との連携をもち未来のOT育成を考える。
県内エリア化の仕組みを具体化	会員の専門性、特性、ホープとニーズの把握。組織率の向上に繋げる。県内8つのエリアを軸に公益活動や地域リハビリテーション事業への参画を促す仕組みを構築。各エリアが協働しやすい基礎の構築を目指す。
法人管理体制の適正化と効率化	事務局機能体制の強化。財務システムの効率化。会員データ管理の再構築を実行。将来的な会員管理と人材バンクの設立に向けた。公益活動窓口機能を強化。倫理機能の強化。定款や規程の整理と適正化。

# 2023-2024年度 前期2年間の達成状況

<b>行動計画</b> <b>2023～2024年度</b>	90-100% 程度達成 ◎ 50- 90% 程度達成 ○ 10- 50% 程度達成 △ 0- 10% 程度達成 ×	<b>備考</b>
<b>学術・教育活動の推進と支援</b>		第19回神奈川県作業療法学会、第6回神奈川県臨床作業療法大会の開催。スキルアップ研修会の実施や研究助成金支援および研究活動の積極的推進。J-stage掲載開始。臨床実習指導者講習会開催、生涯教育推進の実施。MTDLP基礎研修2回、事例検討会4回開催（うち1回は平日夜開催）。などなど多数。
<b>公益活動への取り組み拡大・支援</b>		石川県能登半島地震の支援。神奈川県とDWATに関する基本協定を結び、登録員の研修開始され有事災害の福祉対応が可能となる。作業療法啓発および意見交換会（小田原市長/福祉健康部・県庁健康医療局/福祉こども未来局・他）開催。二俣川免許センターとの連携強化。福祉用具/司法の作業療法研修開催。認知症関連事業多数。地域支援事業多数開催。横浜市地域リハ活動支援事業開催。などなど多数。人材バンクは未着手。
<b>県内エリア化の仕組みを具体化</b>		組織率向上に向け養成校で入会説明会実施。エリア化コネクティング開催。地域支援活動助成金事業開始。県内OTネットワークを推進。エリア長担当者選定に向けた活動。エリア化の目的や認識の再確認とフィードバック。
<b>法人管理体制の適正化と効率化</b>		学生会員制度設立。OT養成校との連携強化。永年会員制度設立。県士会独自の会員データベースの設立は検討準備段階。事務局機能の強化へ向けた組織改編等の取り組み。OT協会との連携。協会員＝士会員に向けた準備。倫理委員会強化。事業内容評価ツールの試用および財務管理の強化徹底。事務局員の確保。定款や規程の適正化。などなど多数。物価高と人件費の高騰への対策を検討中。

2022年度の理事会から、当会の将来的な効率的組織体制を構築するための議論を重ねてまいりました。2300人を超える会員管理等を鑑み、事務局機能を改めて見直し強固な法人管理運営部門を建設する必要に迫られてます。また、事業実行を無駄なく支援ができる体制管理の見直しを強化し、今まで以上に機能的かつ能動的な公益管理事業部門を設置するため、これからの将来を見据え新たなる組織体制を検討して参りました。これまでの間、理事が一丸となり本組織改編の本丸を築きつつあるところです。

一方、OT協会は「協会員 = 士会員」を、2027年度からの運用開始目標と改めました。今後、会員管理運用に関する重要なことになるため、我々の新組織体制の移行と、その後のOT協会との連携は今まで以上に続きます。

“日本作業療法士協会及び都道府県作業療法士会48団体連携協議会”での専らの話題は、所属会員の割合です。様々な要因の中で、当会は約64%の会員率です。当会に所属する会員には、専門職としての研鑽する参加機会を作り、毎年開催する学会や大会での日頃の成果を報告し、たくさんのアドバイスを受けられる機会を作っております。神奈川県には多くのベテラン指導者が揃ってますので、多機能的に専門知識や技術をサポートする体制が整っております。常に会員には還元する主義をもっているのは当会ならではの取り組みなのです。

そこで、多くの会員に向け、さらなる有益な取り組みを検討するための作業検討部会を設置し、社員総会において永年会員制度、学生会員制度などが承認されました。今後、会員同士が、幅広く有効な交流が持てるように仕組みを強化していきます。

2025年度を目標に組織改編を検討しております。皆さまの協力が大事になります。何卒宜しくお願い致します。





2024年度（現組織体制）⇒

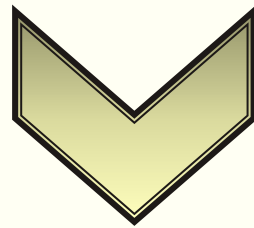
2025年度（新組織体制）∧

法人管理運営部門

検討・管理機能（事務局）

公益管理事業部門

事業実行機能



機能分化型 新組織体制

# まとめ

## 前期 ～更に成長する県士会を目指して～

---

---

- 当士会の取り組みを、積極的にSNSやLINE等を活用し発信した。研修会や講習会等はオンラインを活用し、県内に限らず県外からの参加者も非常に多く、充実した専門性の学習機会となっている。会員の皆には今後も主体的に参加していただきたい。
- 県や市の行政機関および他の医療専門職団体に向け、積極的に作業療法の理解を求める活動を実施した。後期に向けても良好な信頼関係と協調性構築を重視し、神奈川県民に向けた作業療法の啓発を実行していく。
- 県士会の新組織体制を、機能的に改編するための準備が進み、2025年度からの実現を予定している。効率的な士会活動の発展を期待する。
- 3つのKey-wordは当会の原動力。  
未来のOT達のためにも、更なる強靱な土台を県内に構築していく。是非とも協力をお願いします。
- 作業療法士が創る『豊かな未来』の成長を皆で目指そう。